

事業名 早寝早起き朝ごはん推進事業

目的 早寝早起き朝ごはんを推進し、社会や地域全体で子どもの基本的な生活習慣の形成と家庭教育への啓発を図る。

実施主体 新潟市生涯学習センター

参加対象 市民，児童・生徒，保護者

参加者数 下記のとおり

回数 29回 **日数** 31日 **時間** 98時間50分

場所 新潟市生涯学習センター，市内小学校・中学校，コミュニティセンターほか

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月15日～ 3月31日	おはよう朝ごはん料理講習会	食生活改善推進委員
	内容・方法	<p>[趣旨] 地域コミュニティ協議会と協働で、朝ごはんコンテスト表彰作品を題材にした料理講習会を開催し、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを学ぶ。</p> <p>[内容] 地域コミュニティ協議会と共催する料理講習会に講師を派遣。当日は調理実習と食育に関するミニ講話を行う。</p> <p>[対象] 地域の保護者等</p>	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	11月25日～ 12月26日	早寝だ!早起きだ!みんなで挑戦 5☆7☆5 (Go)	
内容・方法	<p>[趣旨] 「早寝早起き朝ごはん」の取り組みを社会や地域全体で盛り立てるため、小学生から早寝早起きをテーマにした川柳を募集し、広く市民に周知することでその機運を高めていく。</p> <p>[内容] 市内の小学6年生から「早寝早起き」をテーマにした川柳を募集。早寝早起き朝ごはん推進委員会が審査を行い、各入賞作品を決定し、市教育委員会の印刷物等で紹介予定。</p>		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	11月9日(日) 10:00～12:00	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [北区] ○早寝早起き朝ごはんミニフォーラム ・内容 「Yes!朝ごはん～君の栄光は朝でキマル?!～」 食生活の大切さに関する調理実習付講義 ・対象 葛塚中学校保護者等 ・参加者数 13名	笹川千鶴子(栄養士)
	11月15日(土) 13:45～14:55	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [北区] ○子育て学習出前講座(地域版) ・内容 「早寝早起き朝ごはん、テレビを消して外に出よう」子どもの生活習慣確立をテーマにした講演会 ・対象 葛塚中学校区内の保護者等 ・参加者数 170名	佐藤 勇 (よいこの小児科 さとう院長)
	7月3(木)～4日(金)、10(木)～11日(金) 16:20～7:50	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [中央区] ○早寝早起き朝ごはんミニフォーラム ・内容 「お寺でゴ～ン!」 お寺を会場に1泊2日の通学合宿 ・対象 入舟小学校児童(希望者) ・参加者数 66名	

	3月(予定)	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [中央区] ○子育て学習出前講座(地域版) ・内容 早寝早起きの取り組みが楽しくなるようなグッズを親子で制作する講習会 ・対象 入舟小学校区内保育園に通う園児と保護者	
	10月19日(日) 10:00~12:30	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [西区] ○早寝早起き朝ごはんミニフォーラム ・期日 平成20年10月19日(日) ・内容 「親子でレクリエーション」 生活習慣に関する講義や親子の関係作りのためのレクリエーション実技 ・対象 黒崎南小学校児童と保護者 ・講師 篠田邦彦(新潟大学教授) ・参加者数 75名	篠田邦彦 (新潟大学教授)
	4月19日(土) 8:00~9:30	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [西区] ○子育て学習出前講座(地域版) 1、内容 「朝しごととしておいしい朝ごはんをたべよう!!」食育を兼ねた生活リズム確立のための体験型事業 ・対象 黒崎南小学校区内の保育園園児とその保護者等 ・参加者数 57名	地域実技指導者
	10月19日(日) 9:30~12:00	2、内容 「みなみっ子の秋No.2 笹団子、作っておいしく食べちゃお」食育を兼ねた生活リズム確立のための体験型事業 ・対象 黒崎南小学校区内の保育園園児とその保護者等 ・参加者数 48名	
	期日・時間	テーマ	講師等
	9月発行	早寝早起き朝ごはん啓発シール作成	
4	内容・方法	[趣旨] 乳幼児やその保護者に向け、家庭教育における基本的な生活習慣の確立を啓発 [内容] 「早寝早起き朝ごはん」推進全国協議会関連キャラクターを使用したシールを作成。 市内の公立幼稚園・保育園および私立幼稚園・保育園の全園児に配布	
	期日・時間	テーマ	講師等
	10月発行	早寝早起き朝ごはんレシピ集作成	
5	内容・方法	[趣旨] 家庭でのレシピ集の活用により「早寝早起き朝ごはん」運動の推進をはかり、子ども達の基本的な生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上を促進する。 [内容] 平成19年度に実施した朝ごはんコンテストの入賞作品を題材とし、「早寝早起き朝ごはん」推進記事を含むレシピ集を作成し、希望する市民に配布	

成果

- ・ 学校や地域と連携協力して、早寝早起き朝ごはんを推進する事業に取り組むことができた。特に地域の人材との関係づくりができた。
- ・ 子どもたち基本的な生活習慣の形成や家庭教育への意識啓発のきっかけとなった。

課題

- ・ 早寝早起き朝ごはんの推進を一過性の事業としてとらえるのではなく、地域全体で家庭教育を支援する視点に立って、継続的に取り組んでいく環境を構築できるかどうか。

問合せ先 新潟市生涯学習センター学習支援係(担当 佐藤 功)